

第10回JEITAデザインフォーラム 「未来洞察からシナリオ創造 -デザインの活かし方-」

- 主催：デザイン委員会
- 担当部署：コンシューマ・プロダクツ部
- 参加者数：248名

概要

2020年のオリンピック開催地が東京に決まり、国を挙げての一大イベントに各自の立場で何をすべきか思いを馳せていることと思います。その準備スタート年として、JEITAデザイン委員会では、第10回デザインフォーラム「未来洞察からシナリオ創造 -デザインの活かし方-」を開催しました。

プレゼンターに、マーケティングや未来洞察をご専門とする一橋大学大学院 鷺田祐一准教授とおもてなしの最前線である衛生陶器、パブリックトイレを手掛けるTOTO(株)主席デザイナーの谷稔氏をお迎えしました。鷺田氏からは博報堂仕込みのコンサル思考で幅広い情報志向ということで横軸のお話を、TOTO(株)谷氏からは、徹底的に人に寄り添ってそこから課題を見つけ出すという縦軸志向のお話を伺いました。また、第2部のパネルディスカッションでは、その縦軸、横軸の交点である人間中心のイノベーションについて大変有意義なディスカッションが行われました。

本フォーラムを通じて、6年後の近未来洞察からシナリオ創造、シナリオ実現へのデザインの活かし方について

触れ、これからのオリンピック準備で良いスタートを切る為の気付きの場となりました。



プログラム

【第1部 講演】

講演1：未来洞察からシナリオ創造 -デザインの活かし方-

一橋大学大学院 商学研究科 准教授 鷺田 祐一 氏

講演2：事例紹介「ユーザーに寄り添うパブリックトイレデザイン」

TOTO(株) デザイン本部 プロダクトデザイン部 主席デザイナー 谷 稔 氏

【第2部 パネルディスカッション】

パネリスト：鷺田 祐一 氏、谷 稔 氏

モデレーター：JEITAデザイン委員会 山崎 明 氏

